

Meikai

明海大学は、国際未来社会で活躍する有為な人材の育成をめざします

NEWS LETTER

明海大学

毎月1日発行

編集・発行

企画広報課

題字：創立者筆

第21回明海祭

「虹」をテーマに6000人が集う

参加者と来場者の個性が七色に調和

11月1日から3日にかけて浦安キャンパス学園祭（明海祭）が開催された。好天にも恵まれ、地域住民や首都圏の高校・大学生など、3日間で約9000人が来場した。今年のテーマは「虹」。学生や一般客、地域住民、参加団体、協賛企業など、それぞれが持ち味を発揮して、多彩な個性が虹のように調和する学園祭にしたいという願いが込められている。学園祭には、37の模擬店が出店し、協賛企業も53を数え、例年にも増して活気に満ちた学園祭になった。

今年も、浦安キャンパス「新設メインステージ」を中心とした「教育後援会から寄贈された」に、防具空手道部、チアリーディング部および軽音楽部アリーナをはじめ多数のクラブやサークルが出演。本部主催の企画など様々な催しが行われ、ステージ周辺は常時、大勢の人で賑わった。学園祭には地域住民も数多く来場し、子どもたちにも毎年人気のオリエンテリングをはじめ、来場者参加型の企画であるクリスマスツリー作りやフリーマーケットなど、地域住民と学生らが交流する姿が数多く見受けられた。



観客を魅了したメインステージでのチアリーディング部の演技

この他、若手人気俳優の忍成修吾のトークショーや、髭男爵、ぼれるなど話題の芸人が登場した「お笑いライブ」には開始前から大勢の観客が押し寄せた。

中でも人気音楽グループの Aqua Timez のライブは、チケットが完売する人気ぶりだ。彼らのヒット曲『虹』が流れると、今年の学園祭テーマも「虹」であることから、会場は一段と盛り上がりを見せた。

母校のサポーターとして協力

浦安キャンパス同窓会パーティー

明海祭初日の11月1日、浦安キャンパスのレストラ・ニューマリンスで、第17回浦安キャンパス同窓会パーティーが開催され、卒業生ら約300人が参加した。

冒頭に武藤俊一副会長が挨拶し、同窓会の現状を報告した。

来賓として招待された安井利一学長は、「私も明海大学同窓生（歯学部卒業）の一人です。皆様には、今

今年の学園祭は、エコ活動にも力を入れ、ゴミの分別を徹底したり、少量の洗剤でも十分に効力を発揮するアクリル製たわしを作り来場者に配布するなど、環境保全にも積極的に取り組んだ。

来場した地域住民からは「今年で2回目の参加。子供たちがオリエンテリングを毎年楽しみにしている。活気に満ちた学園祭で来年も楽しみ」毎年このことから、若い人たちが触れ合うことで元気をもらっている」などの声がかれた。学園祭実行委員会の佐田優大委員長（英米語学科3年）は「明海祭で多くの人の笑顔を見ることができた。『虹』というテーマのもと、みんなの心が一つになったと思う。明海祭に関わった全ての皆様へ感謝の気持ちでいっぱいです」と語った。学生、地域住民および地域企業との架け橋となった明海祭。今年もその個性がいかに発揮され、多くの人に元気を与えたようだ。

参加した同窓生は「同窓会パーティーは久しぶりに恩師や旧友に会うことができ、貴重な機会なのでとても楽しみにしている」と語り、近況報告や思い出話に楽しいひとときを過ごしていた。



挨拶する武藤副会長

公開講座

作家のリンボウ先生も講演

満員の会場を魅了

10月18日、浦安キャンパスで公開講座が開講された。

今回のテーマは「『知』は楽しみにありー美しいイギリスの光と影」。日野壽憲外国語学部教授が「多民族国家イギリスの実像」、「リンボウ先生」の愛称で活躍中の作家・書誌学者の林望氏が「古きよきイギリスの思い出」ポストン夫人、その住まい、文学、思想」と題し講演。当日は、申込者数が389人となり、会場となった大講義室



林望氏による講演

は受講者で満員となった。冒頭、日野教授が多民族国家イギリスの実像について、現代イギリスの人種事情や構成、宗教、歴史など、その背景も含めて分かりやすく説明。続いて林氏が、

かつてイギリスで過ごした児童文学作家のポストン夫人のマナハウスでの生活やイギリスの田園風景の美しさなどを楽しく紹介した。また、12世紀に建てられたイギリス最古の住宅での生活や当時91歳のポストン夫人の聡明で親切な人柄やエピソードなども紹介された。

来場者からは「イギリスの多民族国家に至る過程がよく理解できた」「参加できて本当に心が豊かになりました」などの声が聞かれた。公開講座の開催目的である地域社会への貢献と地域住民との交流が達成され、爽やかなものになった。

日本語発表交流会

11月18日、浦安キャンパスで別科生57人、海外協定校の特別聴講生37人、および全米大学連盟特別聴講生(以下IES生)25人の計119人による日本語発表交流会が行われた。



熱演に会場は笑いに包まれた

これは、授業で学んでいる日本語、日本文化について発表する場を設けるとともに日本人学生との相互交流を深めることを目的としたもの。発表会には日本語学科の学生も参加し、会場である大講義室には約300人が詰めかけた。10組が発表し、ユーモアたっぷりの演技に会場は笑いに包まれた。

不動産学部特別講義

松崎浦安市長が講演
「住民の意見、反映したい」

11月6日、不動産学部の授業科目「不動産ビジネスの経営戦略」で、浦安市の松崎秀樹市長を講師に招き特別講義が行われた。同科

目は不動産業界の第一線で活躍するビジネスパーソンや行政トップを講師に迎えることで、学生の就職意識の向上を図ることを目的としている。当日は参加した約60人の学生が、松崎市長が語る浦安市の歴史や展望に真剣に聞き入っていた。浦安市は、東京から16分という都内への好アクセスに加え、高齢化率10・66%の日本一若い街として注目されている。松崎市長は浦安市が環境・財政・生



「独立した街を目指す」と熱弁

活の面できかに市民が快適に過ごせるかについてふれ、今後の目標・課題として、市が自己決定・自己責任で街の運営をすることを目指す、住民の意見を市政

にストレートに反映したいと熱弁。既に浦安市は自主財政が歳入の83・6%を占めていることや、全国で唯一介護保険事業に一般財源を投入していることなどを挙げ、自立している街であることを強調した。

参加した学生からは「長年浦安で過ごしてきたが、知らないことが多かったということを感じた。建物のことだけでなく、それを取り巻く環境の大切さが伝わった」との声が聞かれた。

森歯学部助教がゴールドリボン賞を受賞



10月20日、徳島県アスティとくしまで

開催された第53回日本口腔外科学会総会へ、森一将歯学部助教がゴールドリボン賞を受賞した。この賞は骨髄幹細胞と骨組織の再生医療において日本でも著名な徳島大学歯学部部長山勝教授

をはじめとする選考委員会で審査されるもので、発表内容が独創性に富み口腔外科学会発展に寄与する臨床研究に対して授与されるもの。今回、受賞の対象となった森助教の研究は「新規アポトーシス制御因子GRIM19の口腔癌細胞における発現」。細胞が自ら死んでゆく現象をアポトーシスというが、GRIM19は近年新たに発見された癌細胞におけるアポトーシスをコントロールしている因子。本研究では、口腔癌細胞におけるGRIM19のタンパク質と遺伝子レベルでの発現、その機能について分子生物学的手法を用いて解明したもので、GRIM19の働きが今後の遺伝子癌治療の開発にどのような役立つかを考察した。森助教は「日頃行っている研究が、学会で評価されたことは、大変光栄に思う。本研究の共同研究者でありご指導いただいた微生物学分野の大森喜弘教授、廣井美紀助教ならびに口腔顎顔面外科学分野Iの嶋田淳教授、また、ご協力いただいた多くの先生方に深く感謝します」と喜びを語った。

「秋の叙勲」で本学関係者3人が受勲

11月3日付けで発令された「秋の叙勲」で、本学から高倉翔名誉教授、成瀬隆名誉教授、橋本弘一名誉教授の3人が瑞宝中綬章の叙勲を受けた。3氏は本学の発展に尽力し、長年の教育・研究などへの功績と学術振興の発展に寄与した功績などが評価された。



57年東京教育大学大学院修了。96年本学教授に就任。99年学長に就任。08年本学名誉教授。教育行財政。



58年北海道大学大学院修了。70年本学教授に就任。99年副学長に就任。08年本学名誉教授。生物学。



54年大阪歯科大学卒業。70年本学教授に就任。83年副学長に就任。97年本学名誉教授。歯科材料学講座。

浦安キャンパスオープンキャンパス総括 高い来場者の満足度

本年度のオープンキャンパスで実施したアンケート調査の全体的な集計結果概要がまとまった。このアンケートは、来場者のニーズをオープンキャンパスのプログラムや運営にスピーディに反映させるため、全9回にわたり毎回実施している。08年度のオープンキャンパスは、アンケート調査の結果からもおむね好評だった。

来年度以降も、来場者のニーズに適ったプログラムを提供することで、より一層来場者の満足度を高めることはもちろん、明海大学の魅力や特色をより効果的に発信できる機会を設けることを目的に開催された。原稿とテープ審査で選ばれた学生3人が参加し、

総来場者数：3844人

満足度

オープンキャンパスの満足度は、「満足」が72.9%、「やや満足」が21.2%で、おむね好評であったことがうかがえる。

学生スタッフの対応は、「良かった」が95.2%、「どちらともいえない」2.5%、「悪かった」0.2%、無回答が2.1%で、好印象をもってもらえたものと思われる。

教職員の対応

教職員の対応は、「良かった」が88.2%、「どちらともいえない」7.1%、「悪かった」0.5%、無回答が4.2%で、おむね好印象をもってもらえたものと思われる。

受験の有無

本学の受験を考えているかについては、「はい」が65.2%、「いいえ」3.1%、「未定」30.5%、無回答1.2%であった。受験すると回答している者が6割を超えているものの、未定としている者が3割近く存在

する。今後これらの層にいかにか明海大学の魅力を伝え、受験に繋げるかが重要な課題となる。

入試区分

受験する場合、どの入試区分を考えているかについては、「AO入試」が44.2%で最も多く、次いで「一般入試」17.1%、「公募制推薦入試」15.2%、「指定校推薦入試」12.5%、「大学入試センター試験利用入試」5.5%などの順であった。

明海大学を知ったきっかけ

明海大学を知ったきっかけは、「友人・先輩・知人から」が33.0%、次いで、「ホームページ」や「受験サイト」が19.6%「高校の先生」13.9%、「受験雑誌」10.6%、「進学説明会」8.7%、「明海大学からのDM」3.5%、「高校内ポスター」3.3%などの順であった。友人・先輩や高校の先生などのいわゆる口コミとインターネットによる情報収集が主流となっている。

明海大学英語スピーチコンテスト

最優秀に河野さん

11月2日、外国語学部主催の明海大学英語スピーチコンテスト2008が浦安キャンパスで行われた。このコンテストは、本学学生が英語で自分の意見を積極的に発信できる機会を設けることを目的に開催された。原稿とテープ審査で選ばれた学生3人が参加し、

海外研修引率レポート

前号に引き続き、海外の交流校で行った短期研修の模様をレポートしてもらった。

互いに助け合う姿勢を体得

（メキシコ）州立自治大学（UAEM）歯学部
08年8月11日～20日
5年生5人
形態機能成育学講座
歯科矯正学分野・高野安紀子助教

現地では、学生が各ホスト宅へのホームステイとなるので、不安もあるが、他大学の研修にはない経験として楽しみにしていた。大学訪問した初日の昼に



UAEMで研修を行った皆さん

はホストとの顔合わせ。その夜の歓迎パーティーでは、学生はホストファミリー全員とテーブルを囲み、盛大にもてなされる。このパーティーで一気にはホストとの距離が縮まり、これから始まる各家庭での生活や研修への不安を吹き飛ばし、期待に満ちた研修の始まりとなった。大学見学では、各棟

自慢のスピーチを披露した。外国語学部教員による厳正な審査の結果、「The danger of today's fairy tales」を発売した河野愛さん（英米語学科1年）が見事優勝を獲得した。2位は宮城玲香さん（英米語学科1年）、3位は田部井亮君（英米語学科2年）。またこの日は、ゲストスピーカーによるスピーチも披露され、アジア・ユースフォーラム国際大会に出席のため来日中のカンボジア代表のアウン・ダーニさん、インドネシア代表ムハマンド・イクバイ・オエイスさん、本学の交換留学生であるエリザベス・エバンスさん（CQ大学）がスピーチを披露した。外国語部長の原口庄輔教授は「レベルの高いスピーチだった。コンテストで積極的に自分の意見を発信することは、出場者にとって

は平屋か二階建てまでの建物で、広々としており、診療室は機能的で、中庭が美しく、診療のために座った患者が眺める景色となっていた。機材は日本に比して、やや古いモデルで、以前、本学が寄贈したデンタルチェアが、今も現役で大切に使われていた。また、研修には診療体験が組み込まれており、本学の学生は、ホストの指導のもとに、診療準備やそれぞれの患者の浸潤麻酔、抜歯実技を体験させてもらった。学生たちは、お互いの補助をし、患者とコミュニケーションをとることで、歯科臨床の楽しさを知った様子である。観光では、ピラミッドの頂上まで全員で励ましあいながら

登頂した。登頂の達成感を共有し、素晴らしい景色を一緒に眺めることで、お互いの親密度がより深まったように思う。

このように様々な体験を一緒に行うことで、学生たちは、言葉を多用せずともお互いを気遣い、助け合う姿勢を自然と体得していた。このことは、本研修プログラムで一番重要なことであり、今回のメキシコ研修における大きな教育効果であると考えられる。このプログラムが学内の多くの方々を力添えで支えられていることを、改めて認識し、学生たちが自身の感謝の意を示したいと行動した場面もあり、教員としても大きな喜びを感じた研修であった。

2008 ALL MEIKAI SPE



表彰される河野さん

今後の人生の糧になると思う。より一層意義のあるコンテストに発展させていきたい」と語った。

浦安キャンパス 夏期海外研修レポート

前号に引き続き、参加学生と引率教員に感想を語ってもらった。

◆◆◆ 日本語教師という夢が鮮明に！

【釜山外国語大学校（韓国）石澤有未（日本語学科3年）

韓国における日本語教育実習で私が担当したクラスは、中級の会話クラスで学生は30人と多いため、いかに学生に発話させるかを意識しました。前日から授業のイメージを描いていましたが、いざ教壇に立つと頭が真っ白になり、教案を見ることが多くなってしまいました。韓国の学生は皆、積極的に発話してくれるので本当に助かりました。グループ活動では、発話量が思ったより少なく、授業を進行する上で工夫が必要だ



修了書を手に記念撮影

と思いました。日本から持参した映画のパンフレットなど視覚を利用した授業展開を実施することで、学生が興味深く関心を持つことがわかりました。指導の先生からはタスクがうまいと褒めていただき、自分の強みとして伸ばしていきたいです。ホストファミリーは優しく、私が不自由に思うことは一度もありませんでした。帰国が近づくと帰りたくなかったほどです。色々な名所を案内してくれたり、私が授業の準備で大変な時は手伝ってくれたり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。韓国と日本の違いに戸惑いもありましたが、私は韓国が好きになったし、今回の研修で日本語教師という夢が、自分の中でより鮮明になりました。今後の活動に生かしていきたいと思います。

山下暁美教授（日本語学科）

08年度の釜山外国語大学校における日本語教育実習は、9月5日から18日にかけて実施しました。実際に教壇に立ってみることで、実習生6人全員が教授法の知識と技術を身につけ、十分な成果をあげたと思いま

す。教壇に立ったとたん「頭が真っ白になった」「緊張した」と言いながらも持ち前の元氣と明るさで、積極的に実習に取り組みました。互いに授業を参観して、助け合って授業の準備をしました。声の大きさ、アイコンタクト、日ごとの言葉づかいと、教える立場になったときの言葉づかいの区別についても実習でなければ気づかないことだったと思います。実習生たちは、教案作成、教材の準備に追われながらも、釜山外国語大学の学生に案内してもらって、釜山での滞在を満喫したようです。例年と異なった点は、チューソクという、日本でいうところのお盆にあたる日が実習期間にあった点です。それぞれのホストファミリーの里帰りに同行して、先祖に感謝する行事について理解を深めました。この夏の実習の成果は、自信となって、今後の勉学に大いに生かされることでしょう。

◆◆◆ 海外研修で視野が広がる

【ライオン大学（イギリス）山田絃子（英米語学科2年）
この研修に参加しようと思

った動機は、イギリスのクイーンズイングリッシュと呼ばれる発音に興味があったからです。一番不安だったのは、ホストファミリーのことでした。しかし、ホストファミリーの人たちはとても優しく、英語が上手くしゃべれない私を温かく迎えてくれました。研修中は、時々隣のクラスの国籍が異なる仲間たちとも交流する経験もできました。この研修に参加し、英語力で自分が変わったと思う点には、スピーキングとリスニングです。日常生活で英語を使う環境で過ごし、たくさん英語の音に触れて、積極的にコミュニケーションをとることで多くのことを学べたと思います。また、自分の視野が広がったと感じます。いろいろな人を見て、多くの経験をして、世界というものを感じ、今までとは違った見方ができるよう



環境にもすぐに適応した

になりました。将来、この経験を生かしていきたいと思えます。
サムエル・ギルダート准教授（英米語学科）
イギリス南部のロンドンから電車で一時間程の距離に位置するライオン大学で、今年の8月、研修学生14人と私は忘れることのできない大変素晴らしい経験をする事ができました。学生たちは現地の気候やそれぞれのホストファミリーと打ち解けるまでに数日かかりましたが、研修が終わる頃には、生活習慣や文化の違いなど多くの困難を乗り越えたくましく成長しました。英国文化の中心で学生たちは熱心に英語を学び、また、新しい環境にもすぐに適応する姿に大変感銘を受け、そのことを私は大変誇りに感じます。
この研修を通じて彼らは確実に成長し、視野を十分に広げることができたと確信しています。このライオン大学研修での経験は、彼らの今後の学生生活や卒業後の進路選択に大きく役立つ、また自信をもって社会のメンバーとなっていくことではないでしょうか。

◆◆◆

人との出会いに感謝 【ハワイ大学】（アメリカ） 飯塚香（ホスピタリティ・ツーリズム学科3年）

8月25日より1週間のハワイ大学での特別授業、1週間の企業見学に参加しました。最も印象的だったことは、人との出会いです。帰国してしばらく経ちましたが、ハワイで過ごした3週間は本当に楽しかったと心から思います。これは一緒に研修をした10人みんなが同じ意見です。その理由として一番に思いつくことは、研修生10人の出会いです。次に、先生方のサポート、そしてハワイ大学でお世話になった先生方と友達



ホスピタリティを実感

の存在です。多くの方々に出会い、支えていただき、研修生同士も互いに協力したからこそ、素晴らしい時間を過ごすことができたのだと思います。初めての海外だった、3回目のハワイだった、様々な10人の中でお互いを思いやり、共同生活、英語での授業、週末のアクティビティとたくさんの方に挑戦して悪戦苦闘したことが何よりの思い出です。そして周りで支えてくださった多くの方に感謝の気持ちでいっぱい

です。この研修がさらに発展し、多くの学生が良い経験を積めることを願います。
内苑孝美教授（ホスピタリティ・ツーリズム学科）
今回2回目となるハワイ大学での研修に10人の学生が参加しました。英語による明海大学オリジナル授業とハワイ大学観光学部（T I M : School of Travel Industry Management）の専門科目の聴講を最初の2週間で行い、最後の1週間で観光立国であるハワイの歴史や戦争、観光施設「パールハーバー、ハレクラニホテル、ザ・カハラ・ホテル&リゾート、JTBハワイ、JALホノルル空港、IICC（機内食）」の見学などを行うことにより、学生は国際社会でのホスピタリティを実際に感じ、将来に向けて現実性をとらえていくことを実感できたと思えます。

明海スポーツ MEIKAI SPORTS

サッカー部

関東大学サッカー大会 1点の重さを痛感



快勝した立教大学戦で

11月2日から23日にかけて平成20年度第41回関東大学サッカー大会が行われ、本学サッカー部は惜しくも予選敗退となった。同大会には8チームが出場。4チームずつAグループとBグループに分かれ、各グループの上位2チームが昇格決定戦に進出となる。本学は千葉県代表として出場し、Bグループに所属。初戦の立教大学戦は2対0で勝利す

し、幸先の良いスタートを切ったものの、次の日本大学戦は0対2で敗れた。予選最終戦となる産業能率大学戦に2点差以上で勝利す

空手道部

全日本空手道選手権大会 善戦するも惜敗

11月23日、第52回全日本大学空手道選手権大会が日本武道館で行われ、先の関東大学空手道選手権大会の団体組手でベスト8入りした本学空手道部男子が出場した。男子トーナメントには、全国64大学が参加。本学は1回戦で、過去に同大会優勝経験のある強豪の九州産業大学と対戦。先鋒、石塚慎介選手（経済学科4年）が5対2で勝利し幸先の良いスタートを切ったものの、次鋒以降の選手が僅差で敗れ、惜敗した。1回

ると得失点差でBグループの予選突破となったが、惜しくも1対0での勝利となり、あと1点届かなかった。関東大学サッカーリーグ2部への昇格を果たせなかったが、最後まで「明海魂」を発揮し戦い抜いた。

ヨット部

千葉県大学生ヨット選手権大会 総合で初優勝

11月15日、16日の2日間、稲毛ヨットハーバーで行われた第8回千葉県大学生ヨット選手権大会で、本学ヨット部が総合優勝（初優勝）を果たした。この大会は千葉県セーリング連盟の公式戦で、県連加盟校のうち本学をはじめ千葉大学、千葉

大学医学部、順天堂大学医学部、東京歯科大学の5大学が参加した。レースは2レース行われ、物井史（経済学科2年）・榎本昌志（不動産学科4年）艇が2レースとも1位で総合1位、田上天輔（英米語学科2年）・末吉佳（経済学科1年）艇が総合2位となり1位、2位を独占。見事総合優勝となった。

陸上部

日本陸上競技選手権リレー大会 決勝進出ならずも予選で好タイム

10月24から26日にかけて、日産スタジアム（新横浜）で第92回日本陸上競技選手権リレー大会が行われた。本学陸上競技部は5月に開催された東京選手権大会の4×100mリレーで3位に入ったため、今大会への出場となった。予選を41秒56のチーム歴代2位のタイムで突破し準決勝に進

出したが、健闘及ばず惜しくも決勝進出とはならなかった。メンバーは第1走者から福岡樹（経済学科2年）・横山裕也（経済学科2年）

上海・日本留学フェア

本学を大きくアピール

10月25日、26日の2日間、日本への留学を志望する中国の留学希望者および進学指導者などを対象にした日本留学フェアが中国の上海で開催された。日本からは

・鈴木拓真（経済学科3年）・小林大樹（経済学科4年）の4人。来年度はメンバー3人が残るため、さらなる躍進が期待される。

国私立大学など26校が参加。本学ブースに訪れた相談者は奨学金制度やカリキュラムについて熱心に質問を寄せた。日本語能力に不安を抱える相談者が多い中、別科をステップとして学部、大学院という進路を目標せることや不動産業が盛んな都市だけあって、不

夏季インターンシップ レポート③

夏季インターンシップレポート最終回は、今年初めて経済学部で企画された税理士事務所でのインターンシップに参加した学生の感想を紹介する。

簿記のほかに税法の知識も

金澤文香さん

（経済学科3年）

待山会計コンサルティング

税理士事務所での2週間のインターンシップに参加し、大変貴重な体験をさせ



会計業務を学ぶ金澤さん

ていただきました。待山会計は、主に病院、診療所などの顧問をしており、医療の会計業務について学ぶことができました。初めて会計ソフトの入力を行い、月次試算表を作成する際には、これまで学んできた簿記の知識を生かすことができました。実際に自分で伝



本学ブースには大勢の相談者が

票を書き、仕訳をしてコンピュータに入力してみるよ、決算申告事務の流れがよくわかりました。確定申告書の作成は、税法の知識がなければ作成することができないので、簿記だけでなく税法についても、もっと学ばなければいけないと痛感しました。また、医療経営コンサルティングは、病院の開業前から医療法人設立等、開業医の先生方を一生涯サポートできる、とてもやりがいのある仕事であることを知りました。これから簿記、税務の資格をたくさん取得し、頑張っていきたいと思えます。

浦安キャンパス教育後援会 静岡市で東海地区教育懇談会を開催

11月9日、浦安キャンパス教育後援会の東海地区教育懇談会が、静岡市内のホテルで開催され、43人の保護者や教職員が参加した。全体会冒頭、仲村務会長から多くの参加者に対して御礼の言葉の後、「大学に関する様々な疑問を、この機会にぜひ忌憚なくご相談いただきたい」と述べた。次に小泉允副学長が本学の変遷、建学の精神、就職に強い大学としての各学部の実践的学習への取り組みなどについて説明。さらに鈴木洋州学生支援課長から明海大学の様々な活動報告のほか、入学試験の状況についても報告が行われた。



熱心な指導に安堵の表情(個人面談)

全体会終了後の個人面談は和やかな雰囲気の中で行われ、教職員の熱心な指導や助言に対し真剣に耳をかたむける様子が見られた。懇談会終盤に、本年度卒業となる学生二人の保護者から会に対する感謝のことが述べられ、閉会となった。

秋のクリーンキャン ペン実施

11月10日～11月28日まで、浦安キャンパスでクリンキャンペンが実施された。木枯らしも吹き始め、日々寒さが増している中、学生らは元気に活動に取り組んでいる。多くの学生が参加し、清掃活動を通じて、6月に引き続き実施された。木枯らしも吹き始め、日々寒さが増している中、学生らは元気に活動に取り組んでいる。

11月10日、浦安キャンパス教育後援会の東海地区教育懇談会が、静岡市内のホテルで開催され、43人の保護者や教職員が参加した。全体会冒頭、仲村務会長から多くの参加者に対して御礼の言葉の後、「大学に関する様々な疑問を、この機会にぜひ忌憚なくご相談いただきたい」と述べた。次に小泉允副学長が本学の変遷、建学の精神、就職に強い大学としての各学部の実践的学習への取り組みなどについて説明。さらに鈴木洋州学生支援課長から明海大学の様々な活動報告のほか、入学試験の状況についても報告が行われた。

明海大学一般入学試験日程

日程	学部	学科	願書受付期間	試験日	
A方式※	外国語	日本語 英米語 中国語	1/8(木) ↓	2/1(日) 2/2(月) 2/3(火)	
		経済 不動産	1/26(月) 消印有効	☆試験日 自由選択制	
	ホスピタリティツーリズム		ホスピタリティツーリズム		
	B方式※	外国語	日本語 英米語 中国語	2/9(月) ↓	3/1(日) 3/2(月)
経済 不動産			2/23(月) 郵送必着	☆試験日 自由選択制	
ホスピタリティツーリズム		ホスピタリティツーリズム			
菌		菌	12/1(月) ↓ 1/28(水) 消印有効	2/3(火)	

※明海大学特別奨学制度有

願 書 請 求 先

明海大学企画部企画広報課
Tel. 047(355) 1101
〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目
<http://www.meikai.ac.jp>



環境美化への成果を期待

6月のクリーンキャンペンにも参加したという学生からは、「以前よりも煙草の吸殻が減ったように思う。少しでも効果が出ていけるならうれしい」との声も聞かれ、活動の成果を実感。

俳句コーナー

風で葉が 池に落とされ 波紋描く 薛 昊辰

《評》作者は中国から来て本学の別科で日本語を学んでいる留学生。秋の風景を淡々と詠んでいるが、池の水に落ちた木の葉が波紋をえがくのをとらえた表現力がすばらしい。
(選者：水谷)

■俳句コーナーでは、広く読者の皆さんからの作品をお待ちしています。明海大学企画部企画広報課宛に投稿してください。(宛先は下記参照)



日ごろの練習の成果を發揮

これはメイカイクラブで開講されている各講座の受講生が、日ごろの練習の成果を発表する場でもあり、明海祭メインステージでの実演のほか、書道や絵手紙などがメイカイクラブ内に展示された。ほかにも10月31日にはメイカイクラブ入館者にお菓子を配るハロウィン企画、11月2日にはレストランニューマリンド内でおカリナとゴスペル講座の発表会が大盛況のなかで行われた。

今後も継続的な活動を通して学生のマナーに対する意識改善や環境美化の成果があがることを期待される。

オータムフェスティバル開催

毎年恒例のオーファンカレッジ主催オータムフェスティバルが明海祭と重なる10月28日から11月3日まで、浦安キャンパスで開催された。

地域と大学とを結ぶ一大イベントとして定着したオータムフェスティバル。明海祭の雰囲気や華やかなものにするとも、多くの方々に文化的な魅力を紹介した。

明海大学企画部企画広報課/古家 磯見
TEL 047(355)1101 浦安明海1丁目
FAX 047(355)1101
E-MAIL kono999@meikai.ac.jp
〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目
http://www.meikai.ac.jp

12月の行事予定

4日(木)	外国語/HT学部教授会 応用言語学研究科委員会
11日(木)	経済/不動産学部教授会 経済学/不動産学研究科委員会
18日(木)	応用言語学/不動産学研究科委員会 歯学部教授会
22日(月)	明海大学忘年懇親会
24日(水)	歯学部教授会/歯学研究科委員会
27日(土)	仕事納め

坂戸キャンパス
PDI 埼玉歯科診療所
退職 11月30日付
歯科医師 中島 裕子

人事往来

新春餅つき大会のお知らせ

日時 2009年1月10日(土) 12時～15時
場所 メイカイクラブ駐車場(雨天時:30周年記念館前)

※お餅がなくなり次第、終了とさせていただきます。
※どなたでも気軽にご参加いただけます。(無料)
※ボランティア(お手伝い)を大募集しております。
ご希望の方は、12月20日(土)までに学事課(オープンカレッジ担当)まで、ご連絡ください。
Tel 047-355-5115 Fax 047-355-5113